

授業科目・形態	国際看護活動論 講義	必修・選択の別	選択	単位数	1
担当者氏名	佐藤 光子	実務経験の有無	有	開講期	4年前期

【授業の主題】

現在の私たちの生活はあらゆる分野で世界の人々といろいろな形につながっています。私たちの健康も世界と深い関わりがあります。そこで世界の人々の健康問題や保健・医療の現状と課題を諸外国の政策や経済、文化的背景との関連から考察し、国際看護の基本理念と異文化の価値観を尊重した看護のあり方について学ぶ。また国際看護を学ぶのは看護の基本を改めて考えることでもあることに気づいて欲しい。

【到達目標】

1. 国際看護を学ぶ意義を理解し説明できる。
2. グローバルな視点で看護の普遍性や多様性について理解し説明できる。
3. 日本が行っている国際社会における連携や、国際看護活動の実践例について理解し説明できる。

【授業計画・内容】

- 第1回 国際看護の概念と対象—なぜ国際看護について学ぶのか—等
- 第2回 看護における文化①
- 第3回 世界の保健医療システムと課題
- 第4回 日本の看護師からみた国際看護の実践の場
- 第5回 国際看護協力に必要とされる態度・能力・知識・技術
- 第6回 国際協力としての看護の実際
- 第7回 在日外国人・在外日本人への医療と看護の実際
- 第8回 看護における文化②

【授業実施方法】 基本的には講義で行う。グループ討議も随時行う。

【授業準備】

毎回の授業にあたって、世界でおこっている様々な事象特に健康に関する情報から感じたこと、学んだことを発表し合う。そのため情報収集し、自分の考えをまとめて発表できるよう準備すること。

【主な関連する科目】 なし

【教科書等】 特に指定しない

【参考文献】

- 国際看護—国際社会の中で看護の力を発揮するために— 南江堂
- 知って考えて実践する国際看護 医学書院
- 国際看護学 中山書店
- 国際看護・国際保健 弘文堂

【成績評価方法】 課題レポート 90%および授業態度等 10%により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

- ・国立、私立の大学病院で看護師として患者や家族への看護全般及び所属の看護師の指導・育成を経験
- ・ドイツ（旧西ドイツ）の公立病院で看護師として患者や家族への看護全般を経験
- ・高齢者介護デイサービスで看護師として利用者の看護や健康管理を経験
- ・重症児・者デイサービス「にのこ」で看護師として重症児・者の医療的ケア及び生活介護を経験
- ・実務経験から得た知見を通して、教科書で述べられている事柄等について実例を挙げて理解を深められるようにする。
- ・看護するうえで患者や家族との信頼関係構築が重要であることを理解できるよう実例を交えて考える機会を提供する。
- ・看護の対象者は非常に幅広く多様であることを理解しそれぞれに合った対応が必要であることを実例を交えて考える機会を提供する。

【学生へのメッセージ】

看護は、人種や国籍を超えた普遍性をもつ専門的な任務であると考えます。国境にこだわらないグローバルな視点で看護の普遍性や多様性を学び、私たちはどんな役割を果たすべきかを一緒に考えましょう。